

問1 空海が唐で学んだ密教を日本に広めるために金剛峯寺を建立した際、唐へ渡った制度を何という？

1. 遣新羅使 2. 遣渤海使 3. 遣唐使 4. 遣隋使

問2 平安時代の貴族文化において、仏教の教えを絵画や工芸品などを用いて表現したものを何という？

1. 浄土教美術 2. 仏像彫刻 3. 書道芸術 4. 曼荼羅画

問3 平安時代に宮廷の出来事や自然の美しさを短文でつづった、日本最古の随筆を著した女性は誰？

1. 和泉式部 2. 菅原孝標女 3. 紫式部 4. 清少納言

問4 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？

1. 最澄 2. 空海 3. 円仁 4. 円珍

問5 院政を行うために、天皇の住む御所の外に設けられた上皇の執務機関を何という？

1. 政所 2. 蔵人所 3. 院庁 4. 検非違使

問6 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原頼通 3. 藤原良房 4. 藤原基経

問7 天皇が幼少の時に代わって政治を行い、天皇を補佐する役割を持つ官職を何という？

1. 関白 2. 征夷大將軍 3. 太政大臣 4. 摂政

問8 894年に菅原道真の提案によって中止され、日本独自の文化を発展させるきっかけとなった出来事を何という？

1. 長岡京遷都 2. 遣唐使の廃止 3. 大化の改新 4. 平城京遷都

問9 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？

1. 紫式部 2. 清少納言 3. 和泉式部 4. 菅原孝標女

問10 平安時代後期に藤原氏の栄華の象徴として平等院鳳凰堂を建立した、当時の政治の実権を握っていた人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原基経 3. 藤原頼通 4. 藤原良房

問11 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？

1. 僧侶 2. 農民 3. 貴族 4. 武士

問12 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？

1. 清少納言 2. 紫式部 3. 菅原孝標女 4. 和泉式部

問13 上皇が権力を強めるため、自らの警護や武力行使のために雇った地方の武士団を何という？

1. 北面の武士 2. 西面の武士 3. 六波羅探題 4. 侍所

問14 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？

1. 出雲大社 2. 日光東照宮 3. 厳島神社 4. 春日大社

問15 天台宗において、あらゆる人が救われるという教えの中心となっている経典を何という？

1. 阿弥陀経 2. 大日経 3. 金剛経 4. 法華経

問16 平安時代末期に厳島神社の社殿を整備した武士は誰？

1. 源頼朝 2. 平清盛 3. 足利尊氏 4. 織田信長

答え合わせ・解説

問1	答え 3 遣唐使	遣唐使は7世紀から9世紀にかけて、朝廷が中国へ送った外交使節団です。空海や最澄ら多くの僧侶や留学生が渡り、仏教の教えや政治制度、芸術などを持ち帰りました。これにより日本の社会や文化は大きな影響を受けました。
問2	答え 1 浄土教美術	浄土教美術は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。平等院鳳凰堂の内部にある華麗な障壁画や、阿弥陀如来坐像などは、当時の最高の職人や芸術家によって作られました。繊細な装飾や美しい色彩は、平安貴族の優雅で洗練された文化を象徴しています。
問3	答え 4 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕える中で見聞きしたことや、四季の美しさなどを鋭い観察眼で書き記しました。これが日本最古の随筆である『枕草子』です。理知的な文体と、当時の宮廷社会の様子を描いた内容が特徴です。
問4	答え 2 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重んじる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問5	答え 3 院庁	院庁は、院政における実務的な行政機関であり、上皇の意志を国家政策として実行する役割を持ちました。ここで出される命令は「院宣」と呼ばれ、強い権力を持っていました。組織として整備されることで、摂関政治とは異なる独自の政治体制が確立されました。
問6	答え 1 藤原道長	藤原道長は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。この強力な血縁関係を武器に、政治の決定権を独占し、藤原氏による統治の最盛期を現出させました。
問7	答え 4 摂政	摂政は天皇が幼い間に代わって政務を行い、天皇が成人した後も補佐する役割として「関白」が置かれました。これら一連の政治形態を摂関政治と呼びます。藤原氏は代々この地位を独占し、天皇をしのぐ権力を握りました。
問8	答え 2 遣唐使の廃止	894年、朝廷で活躍した菅原道真の建議により、遣唐使の派遣は停止されました。この決定により、それまで唐から学んでいた制度や文化の影響が弱まり、日本独自の「国風文化」が発展する契機となりました。
問9	答え 1 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問10	答え 3 藤原頼通	藤原頼通は、摂政・関白として約50年間政治の実権を握りました。当時、貴族たちの間では自分の財力や権力を誇示しつつ、極楽浄土に往生したいという切実な願いがありました。頼通はそれに応えるように、京都の宇治の地に壮大な平等院鳳凰堂を建立し、阿弥陀如来像を安置させました。
問11	答え 4 武士	武士は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。彼らは互いに団結して武士団を形成し、朝廷の命を受けて反乱の鎮圧などを担うことで、次第に力を蓄えていきました。
問12	答え 2 紫式部	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。この作品は、貴族社会の人間模様や恋愛、栄枯盛衰を細やかに描いた世界文学の傑作です。また、彼女が日々の生活や宮中の様子を書き留めた『紫式部日記』も、当時の歴史を知るための貴重な資料となっています。
問13	答え 1 北面の武士	白河上皇が御所の北側に部屋を設けて警護させたことから「北面の武士」と呼ばれます。彼らは単なる警備員ではなく、実行使役の手段として上皇の信頼を受け、次第に政治的な発言力を持つようになりました。
問14	答え 3 厳島神社	平氏一族は、安芸国にある厳島神社を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。海に浮かぶようなその姿は、当時の建築技術の高さと、貴族化した平氏の優雅な文化を今に伝えています。
問15	答え 4 法華経	法華経は、天台宗が最も重視する經典で、「すべての人は平等に救われ、仏になることができる」という教えを説いています。最澄はこの經典に基づき、人々に正しい修行と理解を求めました。この包摂的な教えは、特定の僧侶だけでなく、多くの人々に仏教の門戸を開く役割を果たしました。
問16	答え 2 平清盛	清盛は日宋貿易を積極的に進め、経済的な力を高めました。航海の安全を祈願して、瀬戸内海の厳島神社を厚く信仰し、豪華な社殿を整備しました。平氏の権力は全盛を迎え、一族で朝廷の高位を独占するまでになりました。